

元気な風がふくまち

NAKAMA CITY Public Relations

ななかま

広報

8
2010
No.872

平成22年8月10日発行

CONTENTS

もくじ

特集 2

「響け 私たちの思い」

第18回中間市少年の主張大会

市からのお知らせ	6
まちのわだい	8
環境・市民協働・消費者相談	10
くらしの情報・無料相談	11
健康ファミリー・医療講座	14
人権作文・夏休みわくわく教室	15
みんなのひろば	16
文芸歳時記	18

表紙の説明は18ページをご覧ください

夏だ～！
プールだ～！

響け 私たちの思い



中間東中学校3年
高山 滉平さん



中間北中学校3年
大工 裕菜さん

『『ありがとう』を
伝えたくて』

【主な内容】

小学生のとき不登校になった私は、中学校で許斐香代先生に会い、「thanks」という言葉を教えてもらいました。「ありがとう」という単純な意味ではなく、「今の自分があるのは、周りのものすべてのおかげ」という意味だと先生は言いました。父の転勤のため転校を余儀なくされた私に、先生は相田みつをさんの「本気」という本をくれました。本の中にある言葉に励まされ、たくさんの友だちを作ることができました。先生と出会わなければ、今の自分はなかったかもしれません。これからは「thanks」の言葉どおり、周りの人やものすべてに感謝し、「ありがとう」と素直に言える人になりたいです。

「いのち」

【主な内容】

母と行った保健所には、犬や猫がゲージの中に入れていました。殺される動物の大半が生まれたばかりの命だそうです。保健所は殺処分する場だけでなく、出会いの場でもあります。私たちは里親の条件をクリアし、一匹の犬を引き取りました。クルが私たちの家族になったのは7年前のことです。生き物を飼うことはたいへんですが、それでも一緒に生きるのは、悲しみを癒してくれ、元気にしてくれるからです。今、世の中はペットブームです。人気がなくなったりすると、彼らも同じ道をたどられます。簡単に手に入れ、簡単に捨てるのです。私たちと同じ感情があるというのに。命なのに。

第18回中間市少年の主張大会が7月3日、中央公民館で開催されました。市内4中学校から12人が「将来の夢」「家族のきずな」「命の大切さ」「地球環境」のことなどを自分たちの言葉で主張。会場には、応援の家族など約120人が集まり、中学生の主張に耳を傾けていました。
今回は、12人の主張を紹介します。



中間東中学校3年
佐竹 広大さん



中間北中学校3年
芳賀 楓さん



中間中学校3年
中島 菜津子さん



中間南中学校3年
池松 奈津美さん

「言葉。 そして友だち」

【主な内容】

級友から悪口を言われていた私は、だれにも言わず我慢していました。初めて家族に打ち明けると、担任の先生が解決してくれました。私が伝えたいことは「何もかも我慢して、自分の心を自分で傷つけてはならない」ということと「嫌なことは嫌と言える強い人間になろう」です。私にはまだ、本当の親友と呼べる友だちはいません。私のようにすぐに仲良くできない人は、自分の周りを視点を変えて見回してみたらどうでしょうか。困ったときに助けてくれるのは友だちです。家族に相談できないことでも友だちには相談できます。「助けて」とSOSを出せる友だち、そんな友だちが必ずできると信じています。

「大事なものを 捨ててませんか？」

【主な内容】

中学1年生のころ、先生方を困らせていた私に、祖母が「徳を積むとそれを認めてくれる神様の存在がある」という内容の新聞記事を紹介してくれました。祖母は地域の神社にお参りに行き、リハビリに励む祖父の回復を祈りながら、周辺のゴミ拾いを行っていました。祖父母ののんびりを見て私はポイ捨てをやめました。ゴミを捨てることは心を捨てることです。心のゴミが取れ、見えてきたものは、人の優しさでした。家族の優しさ、友だちの良いところ、先生方が私たちのためにしてくれていること。私を取り巻くすてきな世界を守るために、今日も私はこう言います。「ゴミ、捨てたらいいけんよ」。

「私たちの地球」

【主な内容】

大気汚染、酸性雨、温暖化。そのすべての原因は、私たち人間です。私は小学校低学年のころ、平気でゴミを捨てていました。ある日、ボランティアの人たちが公園でゴミ拾いをしている姿を見て、「ゴミを捨てる」とほかの人に迷惑がかかる」と思い、ゴミになるものはもらわないようにしました。私たちが未来のためにできることは、一人ひとりの意識を変え、無駄使いをなくし、環境問題に取り組むことです。自分の行動が地球にとって良いことなのか、悪いことなのかを考えることが大切です。未来に今よりきれいな地球を残すことが、現在に生きる私たちの役目ではないでしょうか。

「家族の存在から 考えること」

【主な内容】

家族の形は家族構成や性格、環境によってもさまざまです。私は「守ってくれる最も心強い存在」「大切なことを教えてくれる存在」「両親が家族の幸せを考える存在」の3つの要素を持っていることこそ、幸せな家族の形だと思います。私たちにできること、それは大切だと思える存在を身近に感じることです。私にとってそれは家族であり、一番大切な存在です。私はそんな存在がいることを、とても幸せに思います。そして、この幸せをかみしめながら、私は家族や身近にいる人々にとって大切な存在になれるように、人々への思いやりを持って、いろいろなことに向き合い、挑戦したいです。

本人の申し出により
写真と氏名を削除



中間北中学校3年
桑野 彩さん



中間中学校3年
安倍 沙織さん



中間南中学校3年
城島 菜穂さん

「本人の申し出により削除」

「笑顔は笑顔を」

「小さな命」

「たった一つの命と
どう向き合うか」

【主な内容】

本人の申し出により削除

【主な内容】

父が単身赴任先から一時帰国したとき、美容師をしている母が父の髪を切りました。父は母にいろいろな悩みを話していくうちに、心にこびりついたものが髪と一緒に切り落とされ、カットが終わったときには、心もスッキリとしているようでした。私は美容師とは心まできれいに整えることができる仕事なんだと思いました。母がみんなの髪を切ると、母もみんなも笑顔になります。笑顔はつながっていくのです。美容師という職業には、私のしたいことがたくさん詰まっています。私は母のようにつながる笑顔の発信源となり、多くの人の髪と心をさわやかに美しくすることができる美容師になりたいです。

【主な内容】

最近「虐待」という言葉を耳にします。とても悲惨な体験をした話ばかりです。看護師になりたいと思っている私は、どうして目の前にある一つの小さな命を大切にできないんだろうと怒りを感じます。「子どもは自分の命よりも大事なもので、親が守るのはあたりまえ」と母は言いました。それでも虐待が起こるのは、ストレスやさまざまな事情が積み重なるからだと思います。虐待を予防するには、悩みを打ち明けられる友だちを作ること、そして、周りの人も様子がおかしいと思ったら声をかけることが大切だと思います。一人ひとりが思うだけでなく、実行することで救われる命があると信じています。

【主な内容】

人気があるからという軽い気持ちで犬を飼い、人気が無くなったら捨てるような人たちがいることを知り、腹立たしく思いました。自分の子どもを平気で殺す親がいるということも耳にします。私は、命を粗末にする人の気持ちがわかりません。捨てられた犬、殺された子ども、命の重みは一緒に、その命は愛され、輝くべきです。だから、軽い気持ちで動物を飼う人が許せません。私には、小学校の先生になり、子どもたちに命の大切さを教え、一匹でも多くの動物を救うという夢があります。たった一つの命だから、私は一人ひとりが大事にされ、互いが協調し合える世の中を作れるようにがんばりたいです。



当日司会を務めた中間中学校3年の大野いとさん(左)と増田知歩さん(右)



中間中学校3年
まえやま かな
前山 佳奈さん



中間南中学校3年
たけのうち りゅうせい
竹之内 流星さん

インタビュー

主催者を代表してお二人に、講評を含めて話を聞きました。



中間市青少年育成市民会議
水落 勝会長

少年の主張大会は、家庭や学校、地域などで、市民一人ひとりが子どもたちの健全な育成に取り組めるように開催しています。私たち大人は、子どもたちを信じ、子どもたちにとって、本当の幸せは何かを考えなければなりません。

12人の主張は私たちへのメッセージとして真摯に受け止め、彼らとともに歩いていきたいと思います。青少年もがんばっています。良いことをしたときはほめてあげてください。子どもたちには、これから多くの人と出会い、友だちを作り、心豊かな人に育ってほしいと願っています。



審査委員長
清水 千穂さん

今年も聴く人に深い感動を残して大会が終わりました。中学生の真摯な主張にはいつも心を打たれます。今回特に強く感じたのは、子どもたちが大人の姿を見ながら成長していることです。清掃ボランティアに参加し

ている人、あいさつ運動に立っている地域の人たち、家族の何気ない言葉、先生の言葉かけ、一つひとつから考えを深め、自分の生き方の指針にしていることがよくわかります。もっと多くの人に聴いていただいて、子どもたちの理解が進むことを願っています。

「命はつながっている」

【主な内容】

自殺や高齢者の孤独死など心が痛むことが周りで起こり、何か私にできたのではないかと思いました。死がいつ訪れるかは、だれにもわかりません。だから私は、毎日悔いのないように生きていきたいです。いろいろな出来事とおして、周りの人が抱えている問題は、必ず自分に関わってくるのだと思いました。周りの人の出来事に、私の命も動かされることがあると感じます。「命はつながっている」。周りの人の命と私の命はつながっているのです。人は一人では生きられません。必ずだれかに助けてもらっています。たくさんの人と対話して、心を通わせ、つながっている命を大事に育てていきたいです。

「ひらけ心の扉」

【主な内容】

あいさつは気軽にできるので、出会いのきっかけともなります。私はあいさつが苦手でしたが、あいさつ運動のおかげで、今は自然にできるようになりました。初めのころはあいさつすることが恥ずかしかった私ですが、通学路に立つ町内会長さんとのハイタッチを通じて心の交流を楽しむことができるようになりました。このあいさつ運動をおして、ふれあいの場が増えていていると思います。私にできることは、町内のみなさんが教えてくれたあいさつのすばらしさ、心の交流の心地よさを次世代の子どもたちに伝えていくことだと思います。あいさつとは心の扉を開くことができるカギではないでしょうか。

男女共同参画講座に参加しませんか

●問合先 中央公民館
☎(246)2321

次のとおり、男女共同参画講座を開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

第4回 「家族が認知症になったとき」

介護がテーマの講座です。性別、年齢を超えた、男女の共通の課題として一緒に考えてみませんか。

●日時 8月28日(土) 午前10時30分～正午

●場所 中央公民館
●講師 西野憲史さん(西野病院院長)

●申込締切 8月21日(土)

第5回 「心とからだのリフレッシュ ～覚えよう健康体操～」

身体を動かすことで、日ごろのストレスやたまった疲れをリフレッシュしませんか。

覚えやすく楽しくて、誰でも気軽にできる健康体操ですので、自宅で続けることもできますよ。

上履きや飲み物、タオルなどは各自で準備のうえ、運動しやすい服装で参加してください。

●日時 9月9日(金) 午後1時30分～3時30分



○メールアドレス
kouninkan@city.nakama.fukuoka.jp

●場所 保健センター
●講師 田島浩一さん(中間市社会福祉協議会健康運動指導士)

●申込締切 9月2日(金)

いづれも

●申込方法 はがき、FAXまたはメールで申し込んでください

※中央公民館窓口でも申し込むことができます。電話での申し込みは受け付けていません。

●申込先 中央公民館
(〒809-0014 中間市蓮花寺三丁目1-1)
☎(246)2321
FAX(246)0277

中間市都市計画の変更の原案をお見せします

●問合先 都市整備課
☎(246)6261

●原案の事前閲覧を行うもの

①「都市計画区域の整備・開発および保全の方針の変更」

②「区域区分の変更」

●閲覧期間 8月18日(金)～9月1日(土)(土曜日曜日を除く)

●閲覧場所・時間

○中間市都市整備課(別館2階) 午前8時30分～午後5時15分

○福岡県都市計画課(行政棟7階) 午前8時30分～午後5時45分

●公聴会を開催します

これらの原案に対し、市民のみならず、そのほか利害関係者の意見を聞く場として公聴会を開催

します。公述(公聴会で意見を述べること)希望者は、9月1日(金)までに「公述申出書」を提出してください。公述申出者多数の場合は、選定を行う場合があります。公述の申し出がない場合、公聴会は開催しません。

●開催日 9月8日(金)・午後7時～9時

●開催場所 市役所別館地下第一会議室

※詳しくは福岡県ホームページをご覧ください。

○ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp>

平成22年度交通共済の加入申し込みを受け付けます

●問合先 市民課
☎(246)6269

交通共済は、1年間で500円(1口)という手ごろな掛金で、もしもの事故を保障します。2口入れば共済金は2倍です。

加入中の人は、町内会を通じて継続申込書を配布しますので、お手元に届くまでお待ちください。

また、新規・再加入を希望する人は、町内会・市役所市民課・東

部出張所で受け付けますので、掛金と印鑑を用意して申し込んでください。

●募集期間 8月10日(金)～9月30日(金)

※町内会によっては募集期間が異なります。

●保険期間 平成22年10月1日～平成23年9月30日

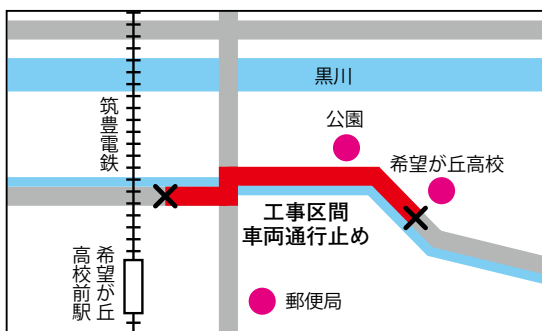
Topic & Information

公共下水道工事により 市道の一部を車両通行止め

土手ノ内三丁目の中間市道出原・殿牟田線(筑鉄ガード下～希望が丘高校入口間)で、公共下水道工事を行います。

工事時間中、一部区間を車両通行止めになりますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 工事場所 中間市土手ノ内三丁目
 - 車両通行止め期間 8月下旬～12月上旬予定
 - 工事時間 午前8時30分～午後6時
- ※日曜日、祝日は除きます。



●問合せ 下水道課 ☎(246)6256

「児童扶養手当」が父子家庭の みなさんにも支給されます

母子家庭を支給対象としていた児童扶養手当が、平成22年8月分から父子家庭にも支給されることになりました。

- 支給要件 父母の離婚などで、父がその子どもを監護し、生計を同じくしている場合など

※児童扶養手当の受給には条件があります。支給要件や手当額、申請に必要な書類など詳しくはお問い合わせください。

●受付開始時期 9月1日(木)～

●支給時期

○7月31日までに支給要件に該当している人で11月30日までに申請…「8月分」から支給

○8月1日～11月30日までに支給要件に該当する人で11月30日までに申請…「要件に該当した日の翌月分」から支給

※11月30日を過ぎると、「申請の翌月分」から支給されます。

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)6248

- 作品展示 11月8日(木)～19日(金)
 - 展示場所 市役所本館1階ロビー
 - 応募資格 市内に在住、市内の福祉・医療施設に入所通所しているおおよね65歳以上の人で、決められた日時に作品の搬入搬出ができる人
- ※搬入は相談に応じます。

- 応募作品 ジャンルは問いませ
- 問合せ 介護保険課 ☎(246)6243
- 応募期間 8月20日(金)～10月29日(金)
- 応募方法 介護保険課または市内公共施設に備え付けの申込用紙に必要事項を記入のうえ、介護保険課窓口、または郵送、FAXで申し込んでください。
- 募集・問合せ 介護保険課 ☎(246)6243

- 募集団地(戸数・住宅タイプ)
- 池田団地(1戸・一般世帯向け)
- 深坂団地(2戸・単身入居可能)
- 岩瀬西団地(1戸・高齢者向け)
- 入居資格
- 中間市内に居住、または勤務している人で、収入が一定額以下であること
- 現在、税金などの滞納がない人
- 暴力団員でない人
- 申込書配布場所 8月23日(火)から都市整備課で配布します
- 申込期間 8月23日(火)～31日(火)
- 申込先 都市整備課

- 日時 9月5日(日)・午後2時～3時30分
- 場所 中央公民館
- 講師 春風河馬腹話術一座と三味線グループ「和会」
- 参加料 無料
- 申込先 中央公民館



「介護の日」おじいちゃん、おばあちゃんの作品募集

●問合せ 介護保険課

☎(246)6243

市営住宅の入居者募集

●問合せ 都市整備課

☎(246)6260

腹話術と三味線の コラボコンサートを開催

●問合せ 中央公民館

☎(246)2321

最高のメンバーで全国へ

7月12日・中間フレンドが全国大会出場

7月3日に荻田町で開催された全国家庭婦人バレーボールことぶき福岡県予選会に出場した中間フレンドがパート優勝を果たし、10月に新潟県で開催される全国大会に出場することが決まりました。予選はすべてストレートで勝ち、念願の全国大会出場を決めた中間フレンド。メンバーは「感動して涙が止まらなかった。チームワークが最高のメンバーで優勝をめざしながら楽しみたいです」と意気込みを語りました。

このコーナーでは楽しいイベントや地域話題などをお届けします。



同和問題を理解してほしい

7月1日・同和問題啓発強調月間街頭啓発

毎年7月は、同和問題啓発強調月間として、福岡県や市町村が各地で啓発事業を実施しています。中間市でもこの日、平和で明るい地域社会の実現をめざし、市民のみなさんに同和問題の正しい理解と認識を深めてもらうため、ショッピングモールなかま周りで啓発のチラシを配りました。



無理なく楽しくまちづくり

6月28日・ふるさとみまわり隊5周年記念講演会

「ふるさとみまわり隊」が今年で発足5周年を迎え、記念講演会がなかまハーモニーホールで開催されました。講師を務めたのは今泉重敏さん（株式会社まちづくり計画研究所代表取締役）。今泉さんは、さまざまな事例を紹介し、「地域で楽しみながらまちづくりをすることが、防犯活動にもつながる」と呼びかけました。





環境に親しんだ一日

7月2日・エコフェスタ 800人イベント

「エコフェスタ 800人イベント」と題し、環境と環境から得る命をテーマにしたイベントが、なかまハーモニーホールで開催されました。会場内には、健康や食品の知識を学ぶための展示コーナーや試食・直売コーナーなどが設置。開場と同時に多くの人々が詰めかけました。リサイクルファッションショーには多くのゲストが参加し、古着を再利用した衣装に身を包んだモデルが登場すると、会場からは大きな歓声が起こっていました。



好評につき今年も発売しました

7月1日・中間市地域振興券「元気な風商品券」発売

昨年発売して好評だった、中間市地域振興券「元気な風商品券」を今年も発売しました。今年は7,000冊の限定発売。1冊10,000円で11,000円分使えるお得な商品券を購入しようと、特設会場の体育文化センターには、発売開始時刻前から購入を待つ人で長蛇の列ができるほど。購入後はみなさん笑顔で満足そうな表情をしていました。購入したみなさん、お得な買い物はできましたか。



自分にできることから始めよう

7月23日・人権みんなの幸せを願う集い

なかまハーモニーホールで人権みんなの幸せを願う集いが開催されました。今回の講師は、アフリカのスーダン共和国で、医療活動を中心に、教育・スポーツなどの事業を展開しているNPO法人ロシナンテス理事長の川原尚行さん。スーダンでの経験で感じた思いを語った川原さんは、「私は今、私ができることをやっています。みなさんもお互いを尊重し、この中間市でできることをがんばってください」と来場者に言葉を贈りました。



暑さに負けずにわっしょい

7月18日・長津祇園山笠まつり

長津地区に夏を告げる長津祇園山笠まつりが開催されました。梅雨が明け、真夏のような暑さで強い日差しが照りつける中、元気いっぱいな子どもたちが「わっしょい わっしょい」という掛け声で、大きな龍神様の神輿を力強く引きながら町内を巡りました。太鼓の音と子どもたちの元気な声が聞こえると、付近に住む人たちは家の外まで姿を見せ、「がんばって」と声をかけたり、暑さをしのぐために水をかけたりするなど激励しました。

川は身近な自然。 汚さず大切にしましょう

ほたるが飛ぶきれいな川にしよう、5月30日に地域の人やボランティア団体、企業など約200人が集まり、曲川の河川敷と沿道の清掃を行いました。

今回で7回目を迎えたこの清掃活動では、回収したごみの量は約340kg（ごみ袋で約160袋と自転車5台）にもなりました。

このような地域ぐるみの清掃活動や、

広報紙、

不法投棄

禁止の看板などに

よる啓発

を継続して行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ

て行っ



不法投棄は後を絶たないのが実情です。

今年6月、不注意が原因で水溶性の塗料が、道路の側溝を通じて河川に流出したことに、川の水が白濁するという事故が起きました。

幸いにも、魚が死んで浮いてきたといった生物への影響はなかったものの、いったん汚濁が発生すると、拡大防止対策を講じて正常な状態に戻るまで、時間や労力、費用がかかってしま

もえるごみ搬入量状況

平成22年度のもえるごみ搬入量は、対21年度比5%の減量を目標にしています。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

	22年度	21年度	差(22年度-21年度)	減量率
6月	1,054,680kg	1,122,930kg	△68,250kg	6.1%
累計	3,151,640kg	3,296,360kg	△144,720kg	4.4%

やっちゃん環境

●問合先 環境保全課 ☎(246) 6265

います。

また、発

生場所だけ

でなく、下

流側で川の

水を利用す

る人にまで

迷惑をかけ

ることにな

ります。

使い古しの

油や塗料は絶対

に河川や道路の

側溝、雨水ます

、台所などに流

さず、適切に処

分してください。

そのほかに川

を汚さない工夫

として、食器

の油污れは洗

う前に落とす

、飲み残しや

食べ残しを流

さないように

必要などきに

必要な量だけ

作るなど、家

庭です。

さらに、家庭

から出る廃食

用油(てんぷら

油)をペットボ

トル容器に入れ

て回収している

町内会もあります。

この回収活動は年4回(直近

は9月)実施しています。事前

に日時などを広報紙や組回覧で

お知らせしますので、活用して

ください。

みなさんにとって身近な自然

である川は、カモやコイなどが

泳ぐ生物の憩いとなる場所でも

あります。

一人ひとりの川を汚さない心

がけと工夫で大切にしていきま

しょう。



はばたけ！市民活動

～ちいさな力を集めて、まちづくり～



でんしょぱと

中間東小学校のお話ボランティアとして、平成14年に発足しました。主に、昼休みの時間に図書室で、保護者や地域のみなさんと一緒に、絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターを行っています。また、カルタをしたり、七夕やクリスマス、節分など季節に合わせたいろいろな行事をしたりして楽しんでいます。要請があれば、子ども会のイベントにも参加しています。子どもたちから笑顔をもらって、ますます元気に活動しています。

●問合先 ボランティアセンター ☎(246) 2184

NO 悪質商法

●消費生活相談窓口
☎(246) 5110

高価な美術品が送られてくる
というトラブルにご注意を

■事例1

業者から電話で勧誘されて断ったが、高価な酒器セットが届いた。返送したが再度戻ってきた。購入しないと電話したが、業者はなかなか応じない。

■事例2

父が一人で在宅中に、電話で高価な陶板額の購入を勧誘された。いらなさと断ったが届いた。家族がクリーニング・オフを主張しても

応じなかった。

■アドバイス

最近、事例のような美術品と称して高価な商品を送りつけられる相談が増えています。「いいです」など、あいまいな返事をする、承諾したと主張される場合があります。昼間、家にいる高齢者が狙われています。「買いません」ときちんと断り、手短に電話を切ってください。電話で勧誘された商品は、特定商取引法で契約書面を受領して、8日以内であればクリーニング・オフが可能です。

くらしの 情報

Information

ホームヘルパー養成講座 2級課程を開催します

●期 間 9月24日(金)～10月26日(火)で平日の昼間12日間

●場 所 なかまハーモニールホール

●応募資格 母子家庭の母、またはかつて母子家庭だった寡婦で、この資格を活かし就職や転職を希望している人

●受講料 無料

●定 員 15人

※応募者多数の場合は抽選となります。また応募者が7人未満の場合は中止します。

●申込締切 8月30日(日)・必着

●申込方法 こどもと福祉の課に備え付けの申込書に必要事項を記入のうえ、郵送かFAXで申し込んでください

●申込・問合せ 福岡県母子

献血にご協力を お願いします

若松法人会中間支部の主催、中間ライオンズクラブ・中間市婦人会・国際ソロプチミスト中間・北九州学生献血推進連盟の後援で、献血を実施します。

●日 時 8月27日(金)・午前10時～午後4時30分

●場 所 ショップパーズモールなかま

※粗品とかき氷を用意しています。

●問合せ 北九州赤十字血液センター
☎(631)1211

うつ病家族教室を開催

家族を対象に、自分の人生を大切にしながら、うつ病患者を支える方法を学びます。

●期 日 内容

○9月16日(日)・「うつ病を知る／うつ病の概論と治療」
○10月7日(日)・「家族の対応方法を知る」

○10月28日(日)・「家族交流会」

●時 間 午後2時30分～4時30分

●場 所 福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所(宗像市東郷一丁目2・1)

●参加料 無料

●申込締切 9月8日(日)

●申込・問合せ 福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所
☎0940(36)2473

オストメイトの 社会適応訓練

人工肛門・人工膀胱を持つ本人(オストメイト)とその家族、医療関係者、介護関係者に正しい器具の使い方などの講演会を開催します。

●日 時 8月29日(日)・午後1時～4時

●場 所 メイトム宗像(宗像市久原180)

●テ ー マ 夏場のストーマケア

●講 師 海田真治子さん(久留米大病院WOC認定看護師)

●参加料 無料

※事前申し込みは不要です。
※個人指導を希望する人は、最初に申し出てください。

●問合せ 社団法人日本オストミー協会福岡県支部
☎0940(36)4062

こどもエコクラブの 参加者を募集します

こどもエコクラブでは、地域での子どもたちの環境学習や実践活動を応援しています。学校や保育所・幼稚園、家族単位など、2人以上の子どもと活動を支える1人以上の大人がいれば参加できます。

子ども向け環境活動の手法や環境イベント情報などを冊子でお届けするなど、環境活動をサポートします。

●対 象 幼児から高校生まで

●参加料 無料

●問合せ 環境保全課
☎(246)6265

カウンセリングを 体験してみませんか

中間市社会福祉協議会では、「在宅介護者のつどい組織化推進事業」の一環として、専門カウンセラーによるカウンセリングを実施します。

日々の生活の中で生じた悩みや思いをカウンセラーと一緒に整理してみませんか。

多くの人にカウンセリングを体験してもらうための企画ですので、現在専門の診療機関などを利用している人はご遠慮いただく場合があります。あらかじめご了承ください。

●日 時 8月27日(金)・午前10時～午後4時

●場 所 ハビネスなかま

●内 容 1人40分程度のカウンセリング

※完全予約制で、定員になり次第締め切ります。

●対象者

○在宅で介護に携わっている人や、今後介護に携わる必要がある人

○悩みを抱えている一般の人で、カウンセリングを体験したい人

●参加料 無料

●申込締切 8月20日(金)・午後5時

●申込・問合せ 中間市社会福祉協議会
☎(244)1230

大学通信教育 合同入学説明会

●日 時 9月5日(日)・午前11時～午後4時

●場 所 エルガラホール8階(福岡市中央区天神一丁目4・2)

※入退場自由、参加申込不要です。

●対 象 一般、高校生
※説明会参加校はお問い合わせください。

●問合せ 財団法人私立大学通信教育協会
☎03(3818)3870

第10回福岡ねりん

スポーツ・文化祭参加者募集

●種 目 卓球、ゲートボール、テニス、囲碁、将棋など

●参加資格 福岡県内在住で60歳以上の人

※日時や場所は種目により異なります。詳しくはお問い合わせください。

●問合せ先 福岡県新社会推進部県民文化スポーツ課
☎092(643)3407

福岡県職員採用試験 短大・高校卒業程度

受験資格

○短大卒業程度：昭和60年4月2日から平成3年4月1日まで生まれた人

○高校卒業程度：昭和62年4月2日から平成5年4月1日まで生まれた人

※試験区分により制限がありますので、お問い合わせください。

試験種類・区分・人数

○短大卒業程度：行政事務・75人、学校事務・14人、警察事務・22人、栄養士・3人

○高校卒業程度：一般事務・40人、学校事務・9人、警察事務・10人、土木・1人

※申し込みは、一つに限ります。

●第1次試験 9月26日(日)

●受付期間 8月16日(月)～27日(金)

※インターネットでの申し込みは8月24日(木)までです。

○福岡県ホームページ

<http://www.pref.fukuoka.jp/>

●問合せ先 福岡県人事委員会事務局
☎092(643)3956

道路交通センサスにご協力を

自動車の利用実態を把握し、将来の交通計画を立てる基礎資料を得るための調査です。

自動車登録情報から調査対象を無作為に選定し、対象車両の一日の動きを把握するためのアンケートを実施します。

調査対象車両を所有するお宅に調査員が訪問します。

●実施予定期間 9月～11月

●問合せ先 国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所
☎(951)4331

無料調停相談会を開催します

●日 時 8月27日(金)・午前10時～午後3時

●場 所 小倉北区役所

(小倉北区大手町1-1)

●相談担当者 裁判所の民事調停委員・家事調停委員

●相談事項

○民事関係：消費者金融、通信販売、金銭貸借、売買、取引、家賃・地代、交通事故、近隣関係など

○家事関係：離婚、遺産分割、夫婦・親子の問題

●相談料 無料

※事前申込は不要で、受付順で相談に応じます。

●問合せ先 小倉調停協会
☎(561)3431

LED電球買い替え促進キャンペーン

地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量は増加していて、なかでも家庭からの排出量はこの10年間で23・6%も増加しています。

家庭での二酸化炭素削減には、電気使用量の約16%を占める照明器具を買い替えることが効果的です。

照明器具の中でLED電球は、白熱電球に比べて約87%の省エネ効果があります。

そこで福岡県では、登録された販売店を対象商品のLED電球を購入した家庭に対して、LED電球10,000個

を対象に、抽選で1個あたり1,000円相当の図書カードまたはお米券を進呈します。

●キャンペーン実施期間 8月21日(土)から10月31日(日)購入分まで

●対象者 福岡県が推進する「エコファミリー」に登録した県内在住の世帯

※応募方法など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ先 福岡県環境部環境政策課
☎092(643)3356

「福岡いのちの電話」ボランティアを募集

募集ボランティア

○相談ボランティア：電話相談員として悩みなどに応じる

○事業ボランティア：チャリティバザー、公開講座などの事業や広報活動への参画、運営の手伝い

●募集締切 9月21日(火)

養成講座期間

○10月9日(土)～平成23年7月27日(金)

○平成23年8月～平成24年8月(実習)

●養成講座場所 九州キリスト教会館(福岡市中央区舞鶴二丁目7-7)

●受講料 20,000円

※宿泊研修で別途実費負担があります。

●応募資格 23歳～65歳の人が必要

●応募書類 次の4点が必要

①所定の申込書

②応募の動機800字程度(自筆)

③自らの生い立ち、成長の歴史2,000～4,000字程度

④友人(知人)による応募者の人物紹介400字程度

※事業ボランティアは①②のみでかまいません。

※申込書の入手方法など、詳しくはお問い合わせください。

●応募・問合せ先 社会福祉法人福岡いのちの電話事務局
☎092(713)4343

全国一斉の無料成年後見相談会を開催

成年後見制度の利用方法、遺言や相続、悪質な訪問販売被害などについて、司法書士が無料で相談に応じます。一人で悩まず、まずはお気軽に相談してください。

●日 時 9月11日(土)・午前10時～午後4時

会 場

○福岡県司法書士会北九州総合相談センター(小倉北区田町11-10)

○水巻いきいきホール(水巻町頃末南三丁目11-1)

●相談方法 面談による相談

※相談は予約者が優先です。

●予約受付期間 8月16日(日)～9月9日(金)・午前10時～午後4時

※土曜・日曜日は除きます。

●予約電話番号

☎(571)8445

●問合せ先 福岡県司法書士会
☎092(714)3721

無料相談コーナー

～気軽にご利用ください～

心配ごと相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…9月4日(土)、17日(金)、22日(金)・午後3時～5時(前日まで窓口で予約受付・受付時間は月曜日～金曜日の午前9時～午後5時・定員10人)

●問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎(244)1230

県巡回交通事故相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…9月8日(土)・午前10時～午後4時(受付は午後3時まで)

●問合せ 総合まちづくり課 ☎(246)2017

行政相談

■場所 ハピネスなかま

行政への苦情・要望などの相談に応じます。
○日時…9月4日(土)、17日(金)・午後3時～5時

●問合せ 総務課 ☎(246)6232

補聴器相談

■場所 介護保険課・ハピネスなかま

○日時…毎月第1～4火曜日・午後1時～2時…介護保険課(市役所1階)、午後2時30分～3時30分…ハピネスなかま

●問合せ 介護保険課 ☎(246)6282

消費者相談

■場所 産業振興課(市役所別館2階)

悪質商法などでお悩みのときはご相談ください。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 消費生活相談窓口 ☎(246)5110

家庭児童相談

■場所 家庭児童相談係(市役所3階)

子どもの養育(しつけ、養育者の問題)など児童に関する相談をお受けします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)3515

悩み・いじめ・教育相談

■場所 少年相談センター(働く婦人の家)

未成年者の非行などに関する相談はこちら。
○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ 少年相談センター ☎(246)0484

女性のための悩みごと相談

■場所 人権男女共同参画課(人権のまちづくりセンター)

あなたが納得のいく生き方ができるようお手伝いします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 人権男女共同参画課 ☎(245)7801

平成22年度行政書士試験

●試験期日 11月14日(日)

●試験会場 福岡工業大学

(福岡市東区和白東三丁目30・1)

●願書配布締切

○郵送配布…8月27日(金)・必着

○窓口配布…9月3日(金)

●願書配布場所

○郵送配布…財団法人行政書士試験研究センター(〒100・8779郵便事業株式会社銀座支店留)

○窓口配布…福岡県庁、北九州地区県民情報コーナー、福岡県行政書士会

●受験申込締切 9月3日(金)・必着

※インターネットでの申し込み

は8月31日(火)・午後5時まで。
○財団法人行政書士試験研究センターホームページ
<http://gyosei-shiken.or.jp>

●問合せ 福岡県市町村支援課

☎092(651)1111

SOHOフェア 2010を開催します

多様な働き方に対応できるように注目されているSOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)を幅広く理解してもらうために開催します。

●日時 8月25日(木)・午後1時～4時

●場所 アクロス福岡(福岡市中央区天神一丁目1・1)

●参加料 無料

●定員 160人
※申込方法など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課

☎092(643)3593

福岡県高齢者・障害者雇用促進のつどい

障害者と高齢者の雇用の促進に向け、事業主をはじめ広くみなさんの理解と協力を得るために開催します。

●日時 9月9日(木)・午後1時30分～4時30分

●場所 アクロス福岡

●内容 障害者雇用の事例発表、記念講演など

●定員 350人

●参加料 無料

●申込締切 8月27日(金)

●申込・問合せ 財団法人福岡県高齢者・障害者雇用支援協会
☎092(473)6339

採石業務管理者試験を開催します

岩石採取に伴う災害の防止に関し、必要な知識と技能についての試験です。

●試験日 10月8日(金)

●試験会場 吉塚合同庁舎(福岡市博多区吉塚本町13・50)

●願書配布締切 9月3日(金)

●願書受付締切 9月10日(金)

※願書の請求方法など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 福岡県商工部工業保安課

☎092(643)3438

広報なかまに 有料広告を掲載しませんか？

広報なかまでは、事業所の有料広告を募集しています。広報紙で会社をPRしてみませんか。

●問合せ 中間市役所 総務課広報広聴係
〒809-8501
福岡県中間市中間一丁目1-1
☎093(246)6271・FAX 093(245)5598
mail: koho@city.nakama.fukuoka.jp

◆契約料金
1契約につき
一口30,000円×3ヵ月＝
90,000円
※1契約は最低3ヵ月からとなります。

6ヵ月以上のご契約の場合、契約料金の割引があります

◆有料広告掲載のお問い合わせは：
総務課広報広聴係 ☎(246)6271

有料広告欄

健康ファミリー

保健センターだより



保健センター ☎(246)1611

腎臓病予防セミナーを開催します

近年、慢性腎臓病が進行して人工透析を受けている人は毎年1万人ずつ増え続け、現在28万人を超える人がこの治療を受けています。これは国民430人に1人の割合にあたります。透析治療は高額な医療費を伴うだけでなく、生活自体も大きく制限されます。慢性腎臓病は、初期のうちには自覚症状がほとんどなく放置されがちです。そして、症状が出たときには「明日から透析を開始」ということになりかねません。

また、この病気を放置しておくと、透析治療に至らなくても動脈硬化を進行さ



せ、心臓病、脳卒中を引き起こす確率が高くなることもわかってきました。

このセミナーで腎臓病の知識を深め、早期発見・早期治療の大切さを学びましょう。

講演会は、同一の内容で夜間にも実施します。事前の申し込みは不要ですので、みなさんの参加をお待ちしています。

●期 日 時

○9月6日(日) 午後7時～8時

30分(受付は午後6時30分)

○9月7日(月) 午後2時～3時

30分(受付は午後1時30分)

●場 所 保健センター

●テ ー マ 腎臓病の早期発見・早期治療

●講 師 瓜生康平さん

(中間市立病院院長・腎臓内科医師)

●問 合 先 保健センター

●健康づくりサポート教室(夜間コース)の受講生を募集

生活習慣病を予防、改善するための食事のとり方や運動の方法を、病気との関連を含めて学ぶ教室を開催します。

【食事編】

●期 日・テ ー マ

○9月16日(金) 慢性腎臓病

○9月30日(木) 高血圧症

●時 間 午後6時30分

●期 日 基礎編：9月28日(火)

●期 日

○基礎編：9月28日(火)

○応用編：10月19日(火)

※基礎編と応用編の両方受講することが条件です。応用編の都合が悪い場合は、相談してください。

●時 間 午後6時30分

8時(受付は6時)

●内 容 講話、実技

●対 象 者 運動制限の指示がない人

●参 加 料 1回50円(保険料)

●持 っ て く る も の 室内シューズ

※動きやすい服装で参加してください。

●申 込 締 切 9月21日(火)

●場 所 保健センター

※申込期限以降のキャンセルは、欠席の場合でも参加料をいただきます。

●申 込 ・ 問 合 先 保健センター

9時(受付は6時)

●内 容 栄養士の講話と調理実習

●参 加 料 400円(食材料費)

●定 員 40人(先着順)

●持 っ て く る も の 筆記用具、エプロン、電卓、食品成分表(お持ちの人)

●申 込 締 切 9月9日(木)

○慢性腎臓病：9月9日(木)

○高血圧症：9月22日(木)

【運動編】

●期 日

○基礎編：9月28日(火)

○応用編：10月19日(火)

※基礎編と応用編の両方受講することが条件です。応用編の都合が悪い場合は、相談してください。

●時 間 午後6時30分

8時(受付は6時)

●内 容 講話、実技

●対 象 者 運動制限の指示がない人

●参 加 料 1回50円(保険料)

●持 っ て く る も の 室内シューズ

※動きやすい服装で参加してください。

●申 込 締 切 9月21日(火)

●場 所 保健センター

※申込期限以降のキャンセルは、欠席の場合でも参加料をいただきます。

●申 込 ・ 問 合 先 保健センター

9時(受付は6時)

●内 容 栄養士の講話と調理実習

●参 加 料 400円(食材料費)

●定 員 40人(先着順)

●持 っ て く る も の 筆記用具、エプロン、電卓、食品成分表(お持ちの人)

●申 込 締 切 9月9日(木)

○慢性腎臓病：9月9日(木)

○高血圧症：9月22日(木)

【運動編】

●期 日

○基礎編：9月28日(火)

○応用編：10月19日(火)

※基礎編と応用編の両方受講することが条件です。応用編の都合が悪い場合は、相談してください。

●時 間 午後6時30分

8時(受付は6時)

●内 容 講話、実技

●対 象 者 運動制限の指示がない人

●参 加 料 1回50円(保険料)

●持 っ て く る も の 室内シューズ

※動きやすい服装で参加してください。

●申 込 締 切 9月21日(火)

●場 所 保健センター

※申込期限以降のキャンセルは、欠席の場合でも参加料をいただきます。

●申 込 ・ 問 合 先 保健センター

知って得する 医療講座

Medical Lecture

No. 35

尿失禁

■今回の講師■



中間市立病院泌尿器科 久保周太 医師

中間市立病院 ☎(245)0981
中間市蓮花寺三丁目1-7

尿意がないときに尿がもれてしまうことを、尿失禁といいます。今回は、せき、くしゃみ、走るなどの動作をして腹圧がかかったときに尿がもれてしまう、女性に多い腹圧性尿失禁について説明します。65歳以上の女性の約27%に尿失禁があるといわれています。

■原因

骨盤内の筋肉がゆるむことで、尿道が十分に締められなくなり、尿もれを起こすと考えられています。女性の骨盤の中には、子宮や膣、卵巣、膀胱、尿道、直腸、肛門などのいろいろな臓器があり、これらを下から支えている筋肉が骨盤底筋です。骨盤底筋がゆるむ最大の原因は、出産といわれています。また、加齢や、血液中の女性ホルモン濃度の低下、肥満などが骨盤底筋のゆるみの原因になります。

■症状や特徴

○せきやくしゃみをしたときに思わずもれる

○重いものを持つたり、急に立ち上がろうとしたときにもれる

○更年期や閉経を過ぎて尿失禁が始まり、ひどくなる

○出産経験(特に2回以上)がある

■治療方法

●骨盤底筋体操(尿失禁体操)

比較的小さい尿の軽い人に対して、ゆるんでしまった骨盤底筋を鍛えて、臓器の下がりを防ぎ、尿道を締める力をつけることで尿もれを防ぎます。尿もれの症状が改善してもこの体操を続けることが重要です。また、この体操は腹圧性尿失禁の予防にもなります

●内服治療

女性ホルモンや尿道を引き締める働きがある薬などをを用います

●手術療法

尿道を吊り上げる手術や、コラーゲンを注入して尿道の筋肉を強くする方法などがあります

子どもたちの瞳に映るもの

「拓ちゃん」

辻 愛未さん
(中間西小学校6年)

平成21年度小・中学校人権作文から

私には、障害のある兄がいます。その兄の名前が「拓真」なので、私はいつも「拓ちゃん」と呼んでいました。

拓ちゃんは、みんなが十こできることが、七こぐらいしかできません。

でも拓ちゃんには、良い所がいっぱいあります。

一つ目は、人の悪口を絶対に言いません。いつも、にこにこして、私を笑わせてくれます。

二つ目は近所の人はもちろん、知らない人にまであいさつをします。だから拓ちゃんは、中学生なのに、なぜか高校生や私の友だち、お年寄りまで知られています。

でも、拓ちゃんは、人がいらっとくるようなことをときどき言ってしまうんです。その度けんかになって周りの人に

めいわくをかけてしまいます。

そんな拓ちゃんを受け入れてくれる人とそうでない人がいます。受け入れてくれない人は、拓ちゃんを変な目でみて、笑ったり、バカにしたりします。絶対に許せません。「何で、拓ちゃんを笑うの」と私は思います。

障害があつて、みんなとちよつとちがうだけなのに、バカにして笑うなんて、すごく心のせまい人なんだと感じています。

でも、拓ちゃんは、自分が笑われたことを絶対にお父さんやお母さんに言いません。

私が、「笑われたの」と聞いても、「わからない」と答えます。

だから、私はいつも、拓ちゃんのことが、心配で心配でたまりません。だから私は、「私だけに教えて」と言います。そうすると、拓ちゃんは素直に教えてくれます。

私は、いつも笑顔でやさしくて、おもしろい拓ちゃんが大好きです。

それによく考えてみると、もし私の兄が拓ちゃんじゃなかったら、こんなに毎日笑っていないと思います。

だから、私はいつもこう感じています。「私の兄でいてくれてありがとう」って。

人権標語

ともだちは げんきをくれる お日さまだ
中間北小学校3年 松崎 貴仁さん
いじめはね ひとの心を こわしちゃう
中間小学校6年 緒方 美月さん
一人じゃない 声かけあおう 友だちだから
中間東小学校5年 荒木 志保さん

特設人権相談所を開設しています

「いじめ問題」「家庭内の問題」「差別問題」などの相談に、人権擁護委員が応じる特設人権相談所を毎月1回開設しています。相談は無料で秘密は固く守られます。予約などは不要ですのでお気軽にご相談ください。

●期 日 毎月第2水曜日

●時 間 午後1時30分～3時30分

●場 所 人権のまちづくりセンター

●問 合 先 人権男女共同参画課

☎(245)3511

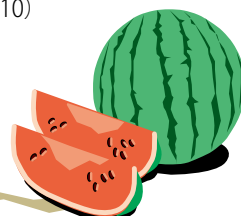
夏休みわくわく教室

～ボランティアセンターで楽しみながら学んじよう～

いろいろな技術や知識を持ったボランティアのみなさんが、すてきな作品の作り方を教えてください。一緒に楽しみながら体験できるイベントも企画していますので、みなさんの参加をお待ちしています。

期日	午前の部(9時～正午)	午後の部(1時～4時)
8月24日(火)	●書道 ※書道具持参 ●百人一首、カルタ遊び	●絵手紙 ※絵の具持参 ●壁掛け作り ※材料費300円
8月25日(水)	●染色 ※材料費300円	●壁掛け作り ※前日の続き
8月26日(木)	●絵画、絵日記 ※絵の具持参	●腹話術
8月27日(金)	●書道 ※書道具持参 ●百人一首、カルタ遊び	●南京玉すだれ
8月28日(土)	●おもしろ川柳 ●手品	

- 場 所 中間市ボランティアセンター(ハピネスなかま内)
- 対 象 小学生
- 定 員 各20人(先着順)
- 申込方法 氏名、住所、電話番号、学校名・学年、参加希望日(午前・午後)を記入のうえ、はがき、FAXで申し込んでください
※ボランティアセンター窓口でも申し込むことができます。月曜日は休館です。
- 申込締切 8月17日(火)・必着
- 申込・問合先 中間市ボランティアセンター
(〒809-0018 通谷一丁目36-10)
☎(246)2184
FAX(244)1232





みんなのひろば

このページは、みなさんでつくるコーナーです。イラストやマンガ、エッセイ、お知らせなどをお待ちしています。はがきで広報広聴係までご連絡ください。



Cooking

今月のおすすめ料理



オクラとまぐろのあえ物

材 料 (4人分)

オクラ…160[㌘]、まぐろ…120[㌘]、長いも…160[㌘]、しょうゆ…大さじ1強、だし…大さじ1強、塩(下ごしらえ用)

作り方

- ①オクラはさっと洗ってたっぷりの塩を振り、手でこすりつけ、熱湯でさっとゆでて冷水に取る。水気をよく切って、小口切りにする
- ②まぐろは1cm角に切る。長いもは短冊切りにする
- ③ボウルに①と②を入れ、しょうゆとだしを加えてあえる

エネルギー 73kcal 食塩 0.8g

中間市食生活改善推進会(緑の会)

◆謡曲・仕舞・狂言の「秋の会」を開催します

各流合同の発表会を行います。秋の一日を古典に親しんでみませんか。

●日 時 9月12日(日)・午前10時～午後4時

●場 所 池田公民館

●問 合 先 中間市謡曲連盟理事 長・勝原宅

☎(245)1531

◆市民公開セミナー

「腎臓病を考える」

自覚症状がないうちに慢性腎臓病になっている人がたくさんいます。早期発見・早期治療のためにもぜひ参加してください。

●日 時 8月28日(土)・午後1時～4時

●場 所 アクロス福岡(福岡市中央区天神二丁目1・1)

●内 容 寸劇、講演、パネルディスカッション

※申込方法など詳しくはお問い合わせください。

●申込・問合先 福岡県腎臓病患者連絡協議会

☎092(713)8020

◆列車の運転を体験してみませんか

車両運転体験会

●期日・場所

○10月2日(土)・筑豊電気鉄道楠橋車庫内(八幡西区楠橋下方三丁目1985・2)

○10月9日(土)・平成筑豊鉄道金田駅構内(田川郡福智町金田1145・2)

●時 間 午前10時～午後3時

●対 象 保護者同伴の小学3年生～6年生

●定 員 午前の部、午後の部いずれも15人ずつ

※応募者多数の場合は抽選。

●体験時間 5分程度(2時間の事前講習が必要です)

車両運転シミュレーター体験会

●期日・場所

○10月2日(土)・福岡市交通局姪浜車両基地(福岡市西区下山門四丁目1・1)

○10月9日(土)・九州旅客鉄道南福岡運転区(福岡市博多区寿町一丁目1・1)

●時 間 午前10時～午後4時

●対 象 保護者同伴の小学生

●定 員 いずれも25人ずつ

※応募者多数の場合は抽選。

●体験時間 10分程度

●参加料 無料

●申込方法 体験者氏名、保護者氏名、郵便番号、住所、電話番号、来場人数、希望会場を記入のうえ、はがきまたはメールで申し込んでください

●申込期限 9月7日(日)

●申込・問合先 国土交通省九州運輸局鉄道部計画課(〒812・00013福岡市博多区博多駅東二丁目11・1)

●入場料 無料

◆第2回糖尿病市民公開講座

●日 時 9月25日(土)・午後1時～4時

●場 所 なかまハーモニホール

●内 容 講演、血糖測定、近視矯正の治療相談、展示など

●講演テーマ・講師

○長寿と肥満と糖尿病・廣畑佳秀さん(廣畑内科クリニック院長)

○アルコール飲める? 飲めない?・大江宣春さん(遠賀中間医師会おんが病院糖尿病内科医師)

○糖尿病のおくすりについての基本的な知識・柳瀬敏彦さん(福岡大学医学部内分泌糖尿病内科教授)

●入場料 無料

●問合先 山名眼科医院

☎(246)2345

ホンのムシ

●問合せ 市民図書館 ☎ (245) 4664

●今月のおすすめ図書●



ねぎぼうずのあさたらう その8

飯野和好・絵

生き別れたおっかさんと妹のおさくにやっと出会うことができた、にんにくにきち。ところがその夜、おさくの嫁入りをじゃましようと悪者が現れて…。浪曲風チャンバラ絵本の第8弾。



荒ぶる波濤

津本陽・著

攘夷論が吹き荒れる中、新しい日本の進路を模索していた龍馬に、想像を絶する逆境の波が押し寄せていた。龍馬の片腕として、陽之助はその舵取りを見事にこなす。明治の「カミソリ大臣」陸奥宗光の青春時代を描く。

●おはなし会●

- 日 時 8月21日(土)・午前11時～
- 内 容 絵本の読み聞かせなど
- 協 力 ほっとブックなかま

わが家のすこやかちゃん



なかむら くるみ ちゃん
中村 胡 桃 ちゃん

平成20年11月20日生(小田ヶ浦二丁目)

笑顔が素敵なくーちゃん。いつもにこにこのくーちゃんいてね。



なかむら そう ま ちゃん
中村 颯 真 ちゃん

平成18年4月21日生(小田ヶ浦二丁目)

ひょうきんなそうまくん。幼稚園で友だちと楽しく遊んでね。

編集後記

▶暑い。夏だから当たり前ですが、屋外での取材はやっぱり暑い。カメラを構え、ファインダーをのぞく目に大量の汗が…。目にしみて痛いうえに、シャッターチャンスも逃してしまい頭はクラクラ。暑い日が続く、全国的に熱中症被害が多発しています。屋外に出かけるときは、直射日光を避け、水分補給を徹底するなど熱中症には気を付けてください (謙)

◆にほんご教室学習者募集

地域に住む外国人が親子で参加できる、日本語教室を開催しています。

現在は、韓国とオーストラリア出身のみなさんが学習中です。7月7日には、文化交流の一環として七夕飾りを行います。9月15日にはお月見の会でお茶会を行う予定です。



外国人のみなさん、ぜひ参加してください。

また、ご家族や地域に、外国から来ている人がいましたら、「にほんご教室」が開催されていることを伝えてください。

●日 時 毎週水曜日(第5水曜日および祝日は除く)・午前10時15分～11時45分

●場 所 中央公民館

●教材 費 1回100円

●問合せ

野間口携帯

☎ 090(6298)0938

○原田宅

☎ (245) 2744

広報担当者にお手紙が届きました

この植物は何でしょうか



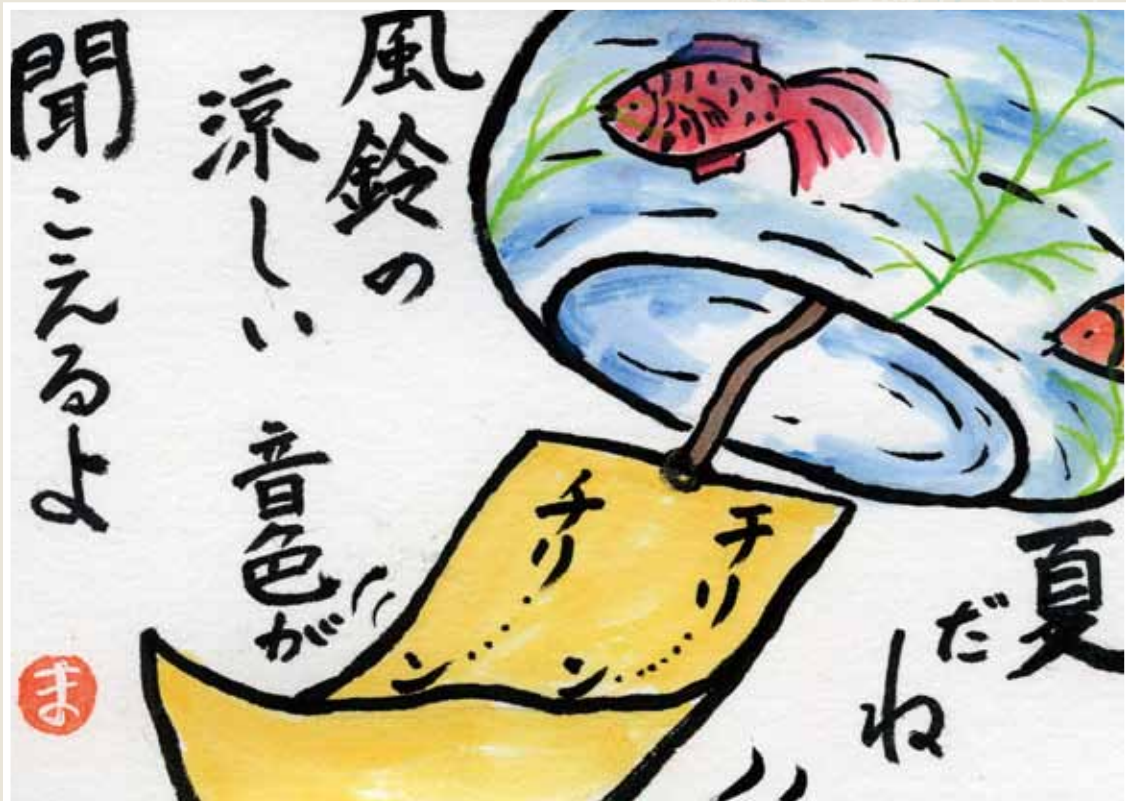
10年くらい前に植えて、ここ1か月くらいで、約4mの大きくなり、2週間くらい前からつぼみのようなものが大きくなりました。存在すら忘れていたので、急に大きくなってびっくりしました。外に置きっぱなしで水も肥料も与えていなかったのに、暑さにも寒さにも負けず成長するなんて、根性あるなと思いました。この先花が咲くのか、このままなのか楽しみです。

東中間二丁目 高野英敏さん・重子さん

福岡県八幡農林事務所北九州普及指導センターに確認したところ、リュウゼツランの一種だろうということでした。リュウゼツランは数十年に一度花を咲かせるそうです。まだつぼみの状態なので、開花までもう少し時間がかかるようです。いったいどんな花を咲かせるか楽しみです。

広報広聴係

文芸歳時記



→ 影山政子さん（通谷五丁目）・作

俳句

ビルの上黒雲走り梅雨に入る

上底井野

小林 香子

まだ青きトマトの玉を数へけり

通谷一丁目

石松 梅子

万緑の山立ち上がり盛り上がり

扇ヶ浦四丁目

樋口 カナエ

青嵐竿のジバン踊らせて

扇ヶ浦二丁目

宮崎 サカエ

新任地やうやく慣れし更衣

太賀二丁目

池田 馨

短歌

中間市短歌会

立花 勲 選

一先ずは両手をつきてやおら立つ老いとは幼に返ることらし

朝霧二丁目

上山 昭子

青き海山はみどりと宇宙より見える世界に国境はなし

中央三丁目

掛田 清香

光りつつ満ちくる如く白金のユーカリの香は部屋にあふれる

通谷一丁目

戸田 恵美子

弟に添い寝もとめし老い母の脳の中に写りしものは

太賀一丁目

石田 順子

眠れぬ夜遠く近くでゲロゲロと蛙の合唱眠り誘う

岩瀬四丁目

吉岡 比呂己

川柳

小崎国雄 選

酔眼に揺れる大地と戯れる

中央三丁目

桑原 康博

タンポポの気儘な旅にあこがれる

太賀三丁目

國谷 美智恵

世の中に誠実ざらいいますよネ

弥生二丁目

永石 スミ子

寄せ鍋に舌鼓して打ち解ける

中間三丁目

柴田 弘美

腹時計老いにつれ添い狂いだす

通谷五丁目

濱下 スミエ

表紙説明

7月1日からオープンしている屋島公園内にある幼児用プール。立石聡史さん、楓真ちゃん、桜彩ちゃん親子（中尾二丁目）が気持ちよさそうに泳いでいました。幼児用プールの遊泳期間は9月30日まで。冷たいプールに、一度遊びに行ってみてはいかがでしょうか。

■「広報なかま」の配布は発行日から開始します。みなさんのお手元に3日以内でお届けできるようにしています

■発行 福岡県中間市役所 ■編集 総務課広報広聴係
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号
TEL 093(244)1111 FAX 093(245)5598
■http://www.city.nakama.fukuoka.jp/
■webmaster@city.nakama.fukuoka.jp

■今回の「広報なかま」にかかった経費は1部約28円です